

調査や発表、 行動のポイントを おさえよう

ひとりひとりの意見を生かし、新たなアイデアを生みだしてみんなで協力して取り組む。これがグループワークだ。ひとりでじっくり考えることもとっても大切なことだけど、みんなでワイワイやっていると、素晴らしいアイデアが生まれることもある。楽しみながら、トライしよう！

課題に取り組むには、いろいろな技がある。ここではその技を紹介しよう。そしていろいろなやり方を試してみよう。なによりも失敗をおそれないことだ。

うまい話し合いの進め方

■話し合いを始める前の準備

- 1) なにについて話し合おうとしているのか「テーマ」をはっきりさせる。大きな紙に書いてみるとうい。
- 2) 司会、タイムキーパー、記録係の役割を決め、進行する。

■話し合いのあいだに注意すること

- 1) 司会は、つねに話し合いの目的を忘れずに。話がずれたらもとにもどす。
- 2) 自分の考えを自由に言おう。違う意見が出たときがおもしろいとき。自分の考えにこり固まらないこと。そして仲間の話をよく聞くこと。
- 3) 発言は、わかりやすく手短かに。最大2分。時間はみんなのもの。ひとりじめはいけない。



問題点やアイデアを出し合うテクニック

頭をぐるぐる回し、アイデアをどんどん出そう。はずかしいと思うことはない。思いつきの連鎖を楽しもう。人のアイデアへの反対意見は言わないのが約束だ。質より量！ 思いついたらカードに書く。カードには1枚に1件のアイデアをできるだけ具体的に書く。ひとり5枚くらい。終わったらおたがい紹介し合おう。このとき新しいアイデアを思いついたらカードを追加する。

情報の集め方

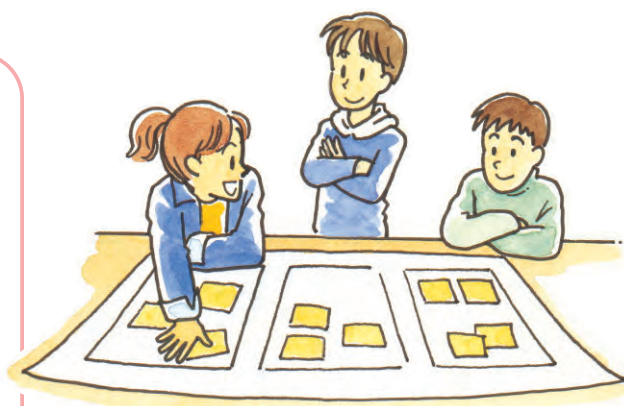
まず、基本的な知識を手に入れる。図書館が役立つよ。そして、新しい情報をインターネットで調べてみる。専門的な情報を人に聞いたり、その場所でしかわからないことを自分で見に行ったりすると、調査はぐっと深まる。人に聞くときは、失礼のないように注意しよう。ていねいにお礼を言うのは当然のことだ。



問題点やアイデアを 整理する技

たくさんある問題点やアイデアを整理し、意味あるかたまりにまとめると、見えないものが見えてくるぞ！

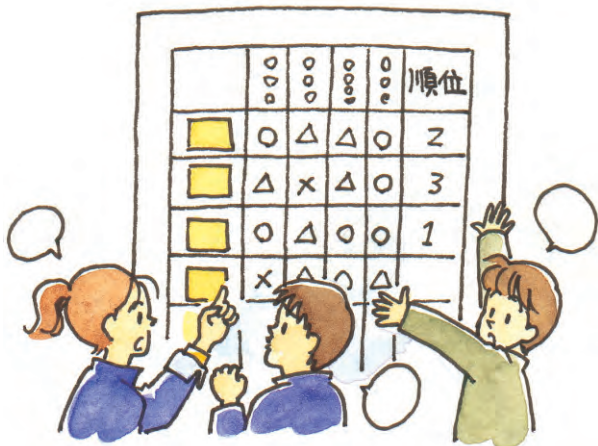
問題点やアイデアを書いたカードの中で、内容の近いものを集め、そのかたまりにぴったりのタイトルをつけていこう。タイトルをつけてみると、かたまりどうしの関係も見えてくる。かたまりどうしの関係を矢印などで結んでもいい。



整理したものに 優先順位をつけてみよう

いろんなアイデアに一度に全部取り組むことはできない。そこで役立つのが、どれをいちばんはじめに取りあげるかを決めるテクニックだ。

はじめに、アイデアをどんな視点でくればよいかを考える。たとえば、そのアイデアのやりやすさ、効果の大きさ、かかる費用などなど。これを決めたら、一覧表をつくり、話し合って○△×をつけてみよう。○2点、△1点、×0点で合計し、得点順に順位をつける。さあ、結果をもう一度みんなで話し合おう。



わかりやすい結果のまとめ方 —目標をどこにおくか—

「まとめる力」を持つことは、とても大切なんだ。ポイントは、なぜそのテーマに取り組んだか。調べてわかったことはなにか。実践してみたことで、なにを発見したか。テーマの目標をどのくらい達成したか。じっくり考えよう。考え方の流れがすっきりしているかな？途中で調査の目的が変わったりしていないかな？きちんとチェックしてまとめよう。



人に伝わる発表のしかた

発表のねらいは人にわかってもらうことだ。発表のポイントは、言いたいことがすっきりしていること。一生懸命考えたり、調べたりしたんだ、たくさん言いたいのはわかる。でも、結果をひとこと言えるまで、しぼりこむ。目的はなにか、結論はなにか？感想や、進め方に対する評価も入れると完璧だ。早口にならないように、聞いている人の目を見ておちついて話す。聞く人、見る人の気持ちになれたら言うことなすだ。

